



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月7日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東
コード番号 3690 URL https://www.yrglm.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 岩田 進
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 栢木 秀樹 TEL 06(4795)7500
半期報告書提出予定日 2025年5月8日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年9月期中間期 | 2,382 | 28.7 | 71 | △33.1 | 65 | △39.5 | 26 | △49.1 |
| 2024年9月期中間期 | 1,851 | 2.2 | 106 | △49.2 | 107 | △49.5 | 52 | △59.8 |

(注) 包括利益 2025年9月期中間期 19百万円 (△63.9%) 2024年9月期中間期 53百万円 (△60.4%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年9月期中間期 | 4.34 | — |
| 2024年9月期中間期 | 8.54 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年9月期中間期 | 3,281 | 1,877 | 55.9 | 295.93 |
| 2024年9月期 | 3,524 | 1,934 | 53.3 | 304.60 |

(参考) 自己資本 2025年9月期中間期 1,834百万円 2024年9月期 1,877百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年9月期 | — | 0.00 | — | 7.80 | 7.80 |
| 2025年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年9月期（予想） | — | — | — | 7.90 | 7.90 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,800 | 32.0 | 200 | 21.6 | 190 | 17.2 | 100 | 45.4 | 16.16 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年9月期中間期 | 6,372,415株 | 2024年9月期 | 6,372,415株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年9月期中間期 | 171,535株 | 2024年9月期 | 210,135株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2025年9月期中間期 | 6,174,080株 | 2024年9月期中間期 | 6,176,302株 |

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 7 |
| 中間連結損益計算書 | 7 |
| 中間連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等の注記) | 11 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰や急激な為替変動等による景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場については、社会のデジタル化を背景に2024年のインターネット広告費は前年比109.6%の3兆6,517億円(株式会社電通「2024年日本の広告費」)と継続的に高い成長率を維持しており、総広告費に占める割合も47.6%まで拡大しております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場については、2023年国内BtoC-EC市場規模は前年比109.2%の24.8兆円となりました。分野別では、物販系分野に関して前年比104.8%と伸長しており、物販系分野におけるEC化率についてもBtoC-ECで9.4%(前年比0.3ポイント増)と伸長しております。BtoB-EC市場におけるEC化も40.0%(前年比2.5ポイント増)と増加傾向にあり(いずれも経済産業省「令和5年度電子商取引に関する市場調査報告書」)、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。当中間連結会計期間においては、2024年9月30日に連結子会社化したルビー・グループ株式会社による業績貢献が期首から発生することから増収となりましたが、コマース支援事業の利益率が低下し前期比で減益となったこと等により、売上高2,382,354千円(前年同期比28.7%増)、営業利益71,399千円(前年同期比33.1%減)、経常利益65,028千円(前年同期比39.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益26,817千円(前年同期比49.1%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

(マーケティングDX支援事業)

当事業は、インターネットにおける消費者行動を横断的に測定し、マーケティングに活用するためのクラウドサービス等を提供する事業であります。当事業では、2024年9月期を開始年度とする中期経営方針「VISION2027」の戦略として、広告効果測定におけるクロスセルを強化し、新たなSaaSの提供開始・人的支援サービスの強化後、これら3つを掛け合わせたクロスセルを強化し、2027年9月期までに過去最高アカウント数を更新することを目指しております。提供しているサービスは広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を主力サービスとし、分析レポート自動作成サービス「アドレポ」を提供する広告代理店向けプラットフォームビジネスやインキュベーション領域として新サービスの開発にも取り組んでおります。また、当事業において2025年5月に国内初のマーケティング・キャンペーンマネジメント・プラットフォーム「AD EBiS Campaign Manager」(以下、キャンペーンマネージャー)の有償版の提供開始を予定しております。属人化しやすく施策の成果や効果が組織内に蓄積されにくい性質であるマーケティング活動において、「マーケティング施策の効果改善サイクルを回したい」という顧客課題がありました。これに対し、「キャンペーンマネージャー」によって暗黙知を形式知へ転換し、マーケティング施策のPDCAを構造化・効率化することによって解決を図ってまいります。これまで「アドエビス」によって広告効果測定領域の顧客支援を行ってまいりましたが、「キャンペーンマネージャー」の提供により支援範囲をマーケティングプロセス全体へ拡大いたします。

当中間連結会計期間においては、各広告媒体のコンバージョンデータにおける計測精度向上と広告配信の最適化をサポートするコンバージョンAPIツール「CAPiCO」において、X広告のX Ads API とMicrosoft広告のMicrosoft Advertising Bing Ads APIに新たに対応いたしました。今回の対応媒体追加により、「CAPiCO」ではX広告とMicrosoft広告を含む主要7媒体への正確なデータ計測と広告配信の最適化支援が可能となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は1,457,538千円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は134,636千円(前年同期比72.1%増)となりました。前年同期との比較においてはインキュベーション領域の売上高が伸長したこと等により、増収増益となりました。また、「Growth Step Program」や「CAPiCO」を軸としてアカウント数の増加に取り組んだ結果、アカウント数については前連結会計年度末から増加となっております。

(コマース支援事業)

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」及びEC構築・運用フェーズを軸として、集客・物流に至るまで、EC事業者が直面する課題に対して支援サービスを提供する事業であります。「EC-CUBE」はプレミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、「EC-CUBE」と連携する各種サービス(決済代行等)の提供事業者から決済手数料収入を得るというエコシステムを構築しております。また、当中間連結会計期間において大規模EC向けの「EC-CUBE Enterprise」を段階的に提供開始いたしました。注力しているEC構築・運用支援領域において、大規模ECサイトに必要とされる高アクセスに耐えるインフラ基盤・モール型EC・多言語対応等の機能をパッケージとして用意し、コストパフォーマンスに優れた高可用性システムとして大型案件の獲得に寄与しています。当事業では「EC-CUBE」の強みを活かしながら、提供機能を垂直方向へ拡張する垂直統合モデルの実現を戦略として掲げております。豊富な実績やノウハウに基づくECサイトの運用支援事業やフルフィルメントサービスの提供を行うルビー・グループ株式会社を当中間連結会計期間より新たに加え、さらにこの戦略実現を加速してまいります。

当中間連結会計期間において、EC構築・運用支援領域では、開発体制拡充を行いながら開発内製化に取り組んでまいりました。また、営業面においても新規獲得や既存顧客からの追加受注等の事業進捗があった一方で、採用費等の経費が先行する状況にあります。また、新たに連結対象となったルビー・グループ株式会社においては、経営管理体制の見直し等による収益改善について着手した直後であり、その成果が出るには至っていない状況であります。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は928,269千円(前年同期比123.7%増)、セグメント損失は63,237千円(前年同期は25,677千円のセグメント利益)となりました。EC構築事業の増収により売上は伸長しているものの、EC構築事業に係る外注費の増加、営業・開発・管理体制の拡充及びのれん償却費増加等により、セグメント損益については減益となりました。なお、新規EC構築案件の受注に注力したことにより、受注高は297,923千円(前年同期比38.0%増)となり、受注残高は195,456千円(前年同期末比169.2%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は2,073,403千円となり、前連結会計年度末に比べ166,770千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が125,021千円増加した一方、未収入金が159,942千円減少したことや税金や配当金の支払い、子会社株式追加取得により現金及び預金が111,238千円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は1,208,558千円となり、前連結会計年度末に比べ75,714千円減少いたしました。これは主に償却によりのれんが65,075千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,281,961千円となり、前連結会計年度末に比べ242,484千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は975,627千円となり、前連結会計年度末に比べ147,214千円減少いたしました。これは主に未払金が147,153千円減少したことによるものであります。

また、固定負債は429,146千円となり、前連結会計年度末に比べ37,470千円減少いたしました。これは約定返済により長期借入金が37,470千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,404,774千円となり、前連結会計年度末に比べ184,684千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は1,877,187千円となり、前連結会計年度末に比べ57,799千円減少いたしました。これは主に剰余金の配当48,065千円により利益剰余金が減少、連結子会社の株式を追加取得したことにより資本剰余金が45,756千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.9%(前連結会計年度末は53.3%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ109,507千円減少(前年同期は80,849千円減少)し、1,215,413千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローについては、192,923千円の収入(前年同期は260,678千円の収入)となりました。これは主に、減価償却費95,323千円(前年同期は85,407千円)の計上、税金等調整前中間純利益65,028千円の計上(前年同期は104,714千円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローについては、92,042千円の支出(前年同期は68,709千円の支出)になりました。これは主に、自社開発ソフトウェアの計上等の無形固定資産の取得による支出82,709千円(前年同期は62,628千円の支出)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローについては、209,890千円の支出(前年同期は272,635千円の支出)になりました。これは主に、長期借入金の返済による支出111,188千円(前年同期は117,667千円の支出)、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の追加取得による支出51,240千円(前年同期は7,750千円の支出)、配当金の支払額47,461千円(前年同期は46,213千円の支出)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年1月17日の「2025年9月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (2025年3月31日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,407,096 | 1,295,858 |
| 受取手形及び売掛金 | 465,899 | 590,921 |
| 契約資産 | 59,732 | 27,783 |
| 仕掛品 | 10,621 | 5,107 |
| 前払費用 | 126,343 | 135,329 |
| 未収入金 | 163,136 | 3,194 |
| その他 | 10,937 | 17,204 |
| 貸倒引当金 | △3,593 | △1,995 |
| 流動資産合計 | 2,240,174 | 2,073,403 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 105,530 | 106,932 |
| 減価償却累計額 | △69,027 | △71,472 |
| 建物(純額) | 36,503 | 35,460 |
| 工具、器具及び備品 | 288,500 | 290,073 |
| 減価償却累計額 | △239,879 | △240,480 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 48,620 | 49,592 |
| 有形固定資産合計 | 85,123 | 85,053 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 430,254 | 365,178 |
| ソフトウェア | 424,993 | 428,311 |
| ソフトウェア仮勘定 | 37,793 | 26,196 |
| その他 | 13,617 | 12,702 |
| 無形固定資産合計 | 906,658 | 832,389 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 56,828 | 54,628 |
| 長期前払費用 | 77,121 | 82,075 |
| 繰延税金資産 | 39,182 | 34,788 |
| 差入保証金 | 118,762 | 119,003 |
| その他 | 3,052 | 3,656 |
| 貸倒引当金 | △2,457 | △3,037 |
| 投資その他の資産合計 | 292,489 | 291,115 |
| 固定資産合計 | 1,284,272 | 1,208,558 |
| 資産合計 | 3,524,446 | 3,281,961 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (2025年3月31日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 38,325 | 68,177 |
| 短期借入金 | 250,000 | 250,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 165,326 | 91,608 |
| 未払金 | 445,276 | 298,123 |
| 未払法人税等 | 40,301 | 49,968 |
| 預り金 | 60,004 | 70,868 |
| 契約負債 | 88,042 | 94,532 |
| 賞与引当金 | 27,009 | 43,163 |
| 受注損失引当金 | 408 | 149 |
| 株主優待引当金 | 8,119 | 8,899 |
| その他 | 29 | 137 |
| 流動負債合計 | 1,122,842 | 975,627 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 429,005 | 391,535 |
| 資産除去債務 | 37,611 | 37,611 |
| 固定負債合計 | 466,616 | 429,146 |
| 負債合計 | 1,589,459 | 1,404,774 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 318,065 | 318,065 |
| 資本剰余金 | 400,144 | 354,387 |
| 利益剰余金 | 1,304,566 | 1,274,875 |
| 自己株式 | △160,827 | △130,275 |
| 株主資本合計 | 1,861,949 | 1,817,054 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 15,064 | 17,945 |
| その他の包括利益累計額合計 | 15,064 | 17,945 |
| 非支配株主持分 | 57,972 | 42,188 |
| 純資産合計 | 1,934,987 | 1,877,187 |
| 負債純資産合計 | 3,524,446 | 3,281,961 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 1,851,715 | 2,382,354 |
| 売上原価 | 795,467 | 1,160,017 |
| 売上総利益 | 1,056,248 | 1,222,336 |
| 販売費及び一般管理費 | 949,491 | 1,150,937 |
| 営業利益 | 106,756 | 71,399 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 7,713 | 4,306 |
| 持分法による投資利益 | 807 | 1,033 |
| 還付消費税等 | — | 2,346 |
| その他 | 259 | 1,556 |
| 営業外収益合計 | 8,780 | 9,243 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,802 | 3,650 |
| 為替差損 | 321 | 1,671 |
| 投資有価証券評価損 | 4,154 | 3,233 |
| 長期前払費用償却 | 1,302 | — |
| 固定資産除却損 | 21 | 6,998 |
| その他 | 440 | 60 |
| 営業外費用合計 | 8,043 | 15,613 |
| 経常利益 | 107,493 | 65,028 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 2,779 | — |
| 特別損失合計 | 2,779 | — |
| 税金等調整前中間純利益 | 104,714 | 65,028 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 39,845 | 44,932 |
| 法人税等調整額 | 10,353 | 4,393 |
| 法人税等合計 | 50,199 | 49,326 |
| 中間純利益 | 54,514 | 15,702 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△) | 1,796 | △11,115 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 52,718 | 26,817 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日) |
|----------------|---|---|
| 中間純利益 | 54,514 | 15,702 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △806 | 3,694 |
| その他の包括利益合計 | △806 | 3,694 |
| 中間包括利益 | 53,708 | 19,396 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 51,911 | 29,697 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 1,796 | △10,301 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日) |
|----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 104,714 | 65,028 |
| 減価償却費 | 85,407 | 95,323 |
| のれん償却額 | 61,112 | 59,584 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 11,870 | 16,118 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1,023 | △1,018 |
| 受取利息及び受取配当金 | △7,713 | △4,306 |
| 株主優待引当金の増減額(△は減少) | 6,331 | 780 |
| 支払利息 | 1,802 | 3,650 |
| 固定資産除却損 | 21 | 6,998 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | 610 | △258 |
| 減損損失 | 2,779 | — |
| 持分法による投資損益(△は益) | △807 | △1,033 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 23,813 | 29,852 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 4,154 | 3,233 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 102,369 | △125,263 |
| 契約資産の増減額(△は増加) | △20,311 | 31,948 |
| 契約負債の増減額(△は減少) | 9,716 | 6,335 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | △5,514 | 4,803 |
| 長期前払費用の増減額(△は増加) | △41,063 | 3,731 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △44,107 | △147,804 |
| 預り金の増減額(△は減少) | △1,248 | 10,755 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 1,350 | 5,911 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 144 | 159,944 |
| その他 | △3,212 | 760 |
| 小計 | 291,197 | 225,076 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,927 | 4,225 |
| 利息の支払額 | △1,821 | △3,734 |
| 法人税等の支払額 | △34,625 | △32,643 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 260,678 | 192,923 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額(△は増加) | 412 | 3,596 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △6,240 | △12,719 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △62,628 | △82,709 |
| 差入保証金の差入による支出 | △690 | △185 |
| その他 | 438 | △24 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △68,709 | △92,042 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △117,667 | △111,188 |
| 自己株式の取得による支出 | △99,979 | — |
| 配当金の支払額 | △46,213 | △47,461 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △1,025 | — |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △7,750 | △51,240 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △272,635 | △209,890 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △183 | △498 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △80,849 | △109,507 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,375,332 | 1,324,920 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 1,294,482 | 1,215,413 |

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（1）子会社株式の追加取得

当社は、2024年12月25日付で、連結子会社である株式会社トピカの株式を追加取得いたしました。この結果、当中間連結会計期間において、資本剰余金が45,756千円減少し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が354,387千円となっております。

（2）自己株式の処分

2025年1月17日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式を40,200株処分いたしました。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金が8,442千円減少し、自己株式が30,552千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 中間連結 損益計算書 計上額 |
|-------------------|-------------------|--------------|-----------|--------|----------------------|
| | マーケティング DX支援事業 | コマース 支援事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,436,675 | 415,040 | 1,851,715 | — | 1,851,715 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 1,436,675 | 415,040 | 1,851,715 | — | 1,851,715 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,040 | — | 1,040 | △1,040 | — |
| 計 | 1,437,716 | 415,040 | 1,852,756 | △1,040 | 1,851,715 |
| セグメント利益 | 78,216 | 25,677 | 103,894 | 2,862 | 106,756 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去6,120千円及びのれん償却額△3,258千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「マーケティングDX支援事業」において、アドエビスの管理画面リニューアルに伴い一部機能の提供を終了することを決定したことにより、当該機能に係るソフトウェアについて減損処理を行い、減損損失2,779千円を計上しております。

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 中間連結 損益計算書 計上額 |
|-------------------|-------------------|--------------|-----------|--------|----------------------|
| | マーケティング DX支援事業 | コマース 支援事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,454,621 | 927,732 | 2,382,354 | — | 2,382,354 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 1,454,621 | 927,732 | 2,382,354 | — | 2,382,354 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,916 | 536 | 3,453 | △3,453 | — |
| 計 | 1,457,538 | 928,269 | 2,385,807 | △3,453 | 2,382,354 |
| セグメント利益又は損失(△) | 134,636 | △63,237 | 71,399 | — | 71,399 |

(注) セグメント利益の合計額は、中間期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。